

令和2(2020)年度の労働相談状況について

令和3(2021)年7月29日
栃木県産業労働観光部労働政策課

県では、県内4か所の労政事務所及び労働政策課において、労働条件や職場における人間関係など労働問題全般にわたる幅広い相談に応じています。

令和2(2020)年度の労働相談状況を取りまとめた結果は以下のとおりです。

1 労働相談件数

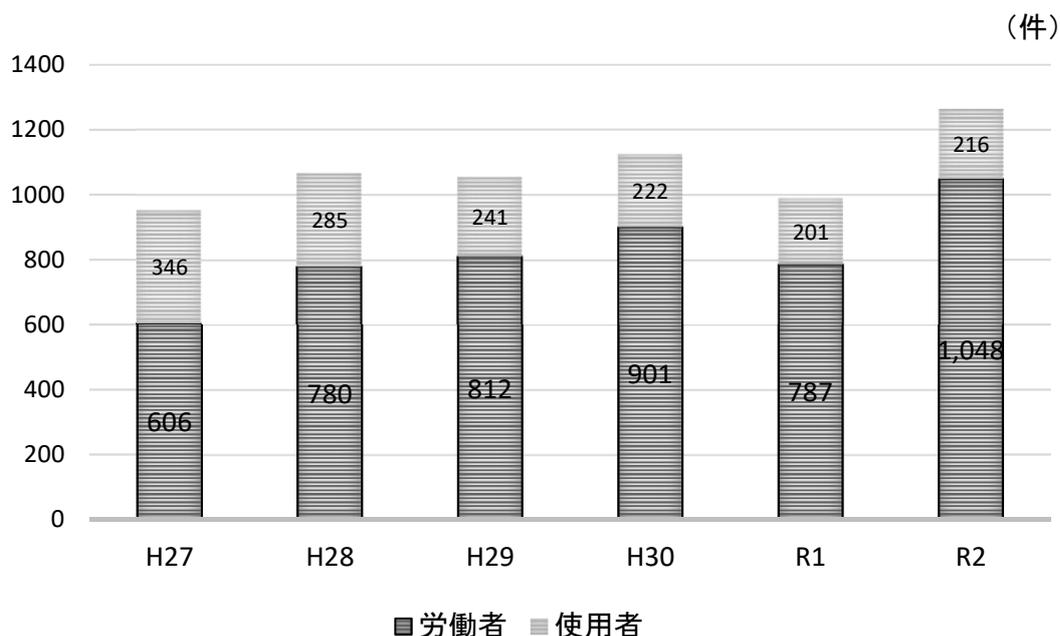
令和2(2020)年度の労働相談件数は1,264件で、前年度と比べると276件(27.9%)の増加となり、2年振りに1千件を上回った。

図-1 (件)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
労働者	606	780	812	901	787	1,048
(構成比)	63.7%	73.2%	77.1%	80.2%	79.7%	82.9%
(対前年度比)	113.7%	128.7%	104.1%	111.0%	87.3%	133.2%
使用者	346	285	241	222	201	216
(構成比)	36.3%	26.8%	22.9%	19.8%	20.3%	17.1%
(対前年度比)	79.0%	82.4%	84.6%	92.1%	90.5%	107.5%
計	952	1,065	1,053	1,123	988	1,264
(対前年度比)	98.0%	111.9%	98.9%	106.6%	88.0%	127.9%

図-2

相談件数

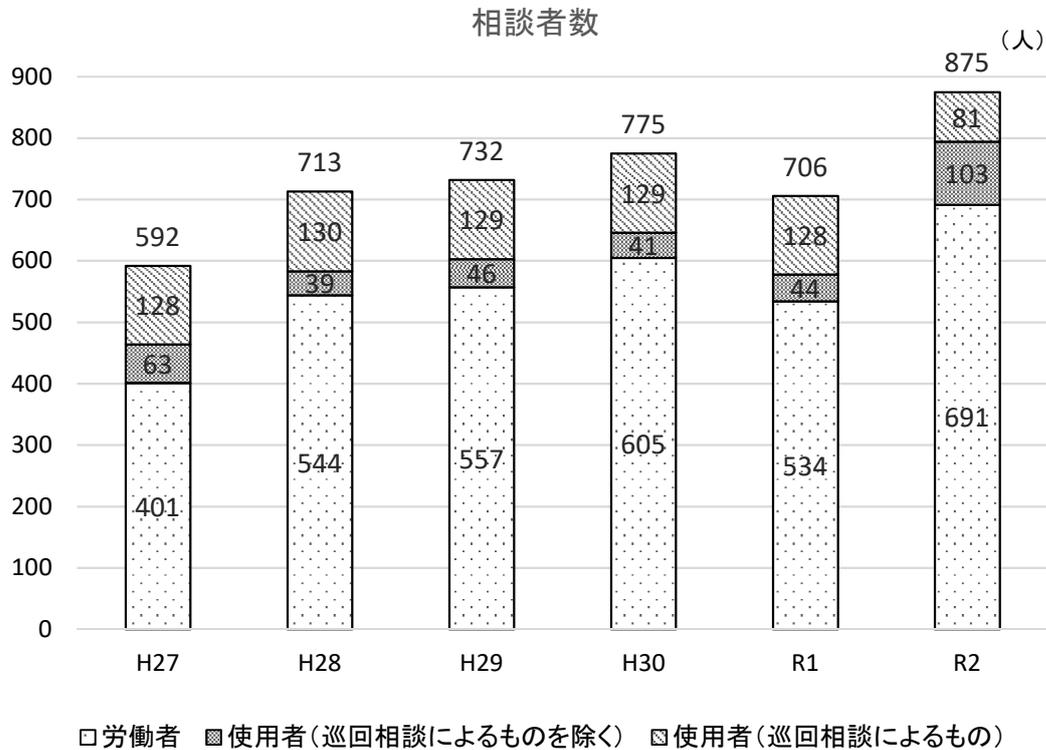


2 労働相談者数

令和2(2020)年度の労働相談者数は875人と、前年度の706人に対して169人(23.9%)の増となった。そのうち、労働者からの相談が691人で、前年度の534人に対して157人(29.4%)の増であった。

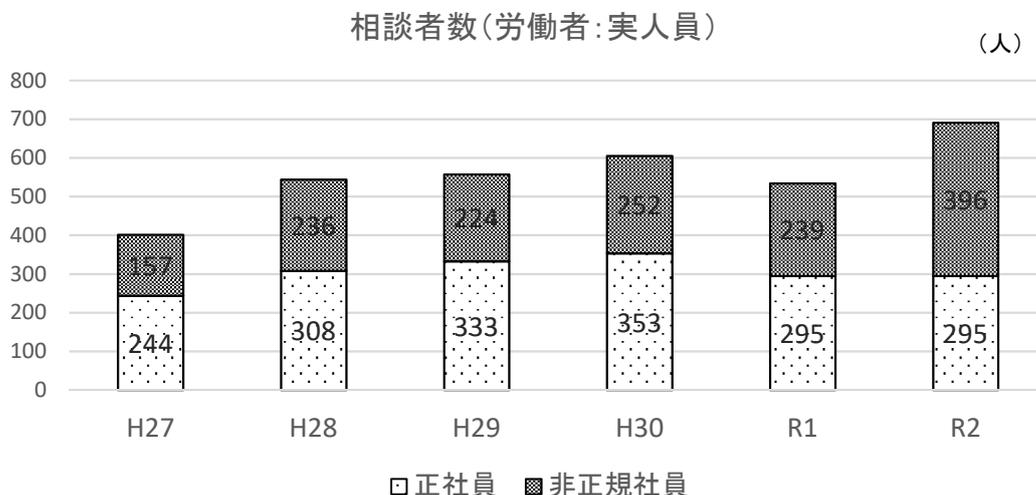
使用者からの相談は巡回相談によるものを除いて103人であり、前年度の44人に対して59人(134.1%)の増であった。

図-3



令和2(2020)年度の労働者からの相談のうち、正社員からの相談は、令和元年(2019)年度から横ばいの295件であった。一方、非正規社員からの相談は、令和元(2019)年度までほぼ横ばい傾向にあったが、令和2(2020)年度は増加した。

図-4



3 相談内容別件数(労働者)

労働者からの相談(1,048件)のうち、最も多かったのは「労働条件」であり、次いで、パワハラ・いじめなどの「人間関係」となった。

最も多かった「労働条件」の内訳では、「賃金」、「労働時間等」、「解雇等」、「退職金」の順で相談件数が多かった。

図-5

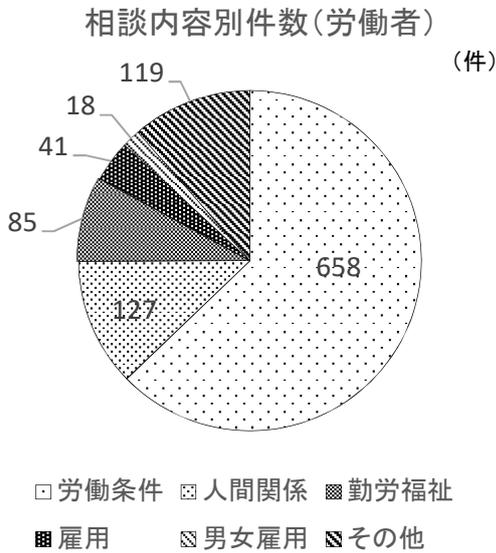


図-6

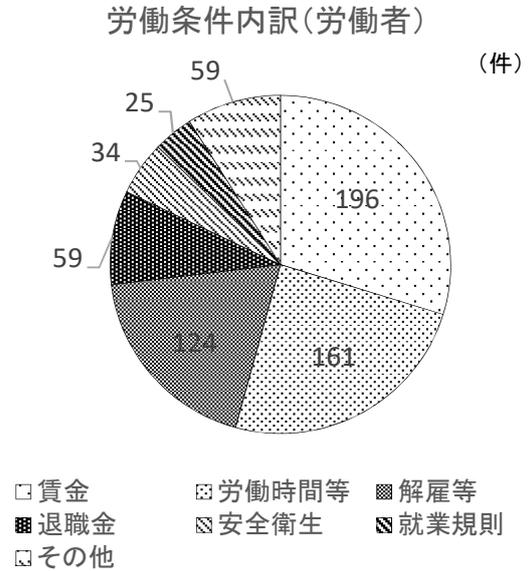


図-7

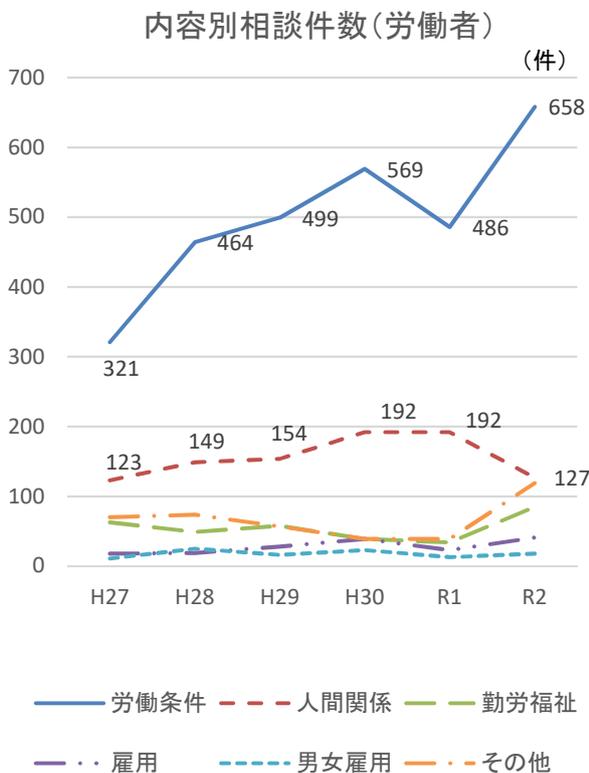
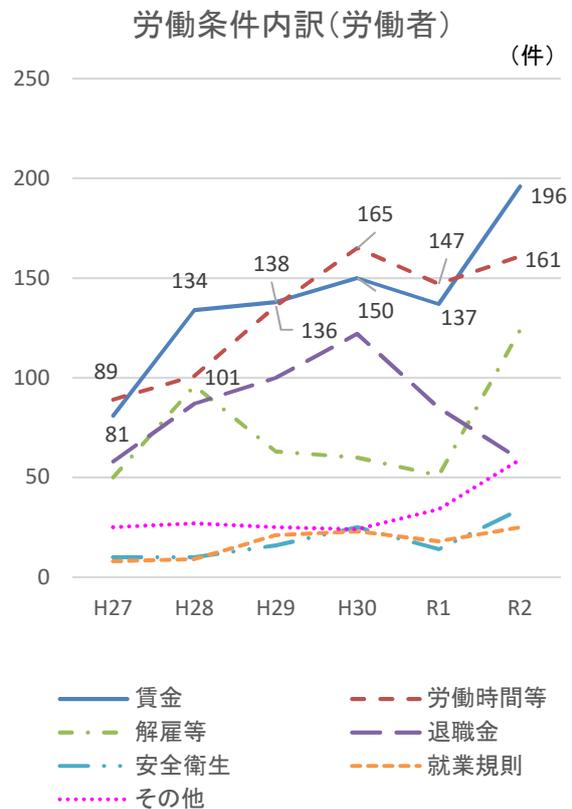


図-8

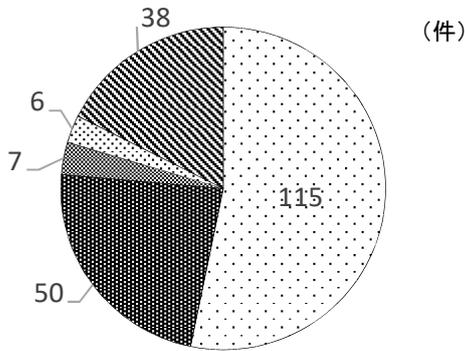


4 相談内容別件数(使用者)

使用者からの相談(216件)のうち、最も多かったのは「労働条件」であり、次いで、「雇用」となった。最も多かった「労働条件」の内訳では、「労働時間等」、「賃金」の順で相談件数が多かった。

図-9

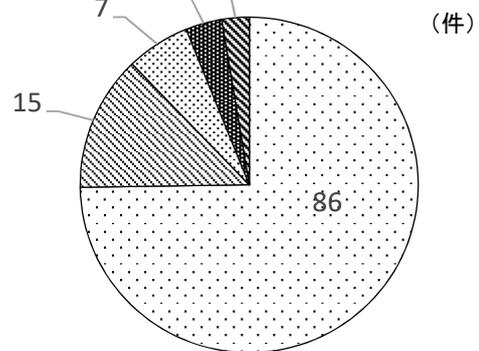
内容別相談件数(使用者)



□労働条件 ■雇用 ■勤労福祉
 □人間関係 ■その他

図-10

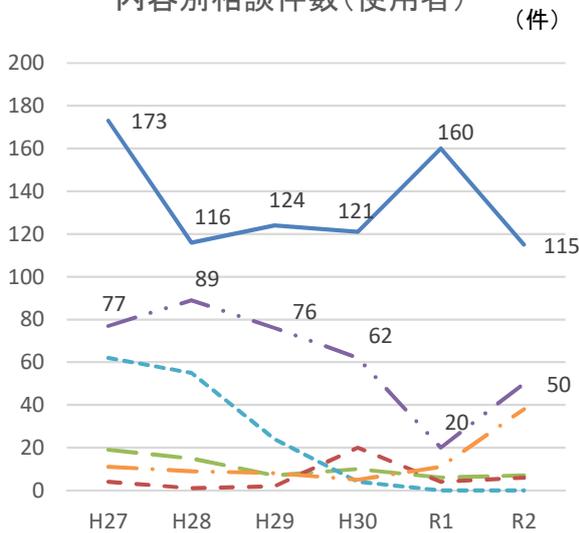
労働条件の内訳(使用者)



□労働時間等 ■賃金 ■就業規則
 ■解雇等 ■安全衛生

図-11

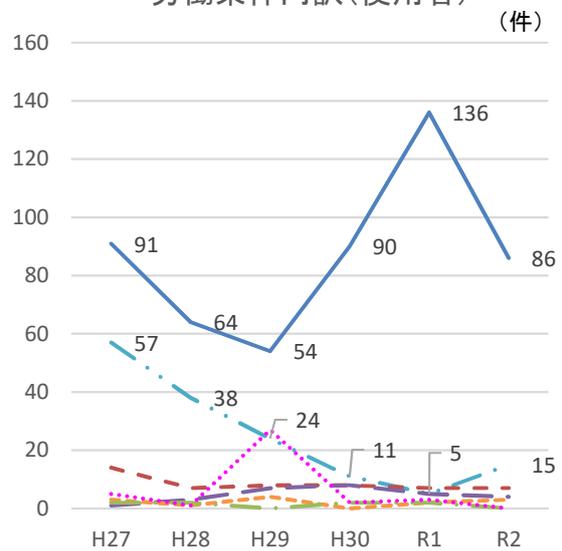
内容別相談件数(使用者)



—労働条件 -.-雇用 -.-勤労福祉
 -.-人間関係 -.-男女雇用 -.-その他

図-12

労働条件内訳(使用者)



—労働時間等 -.-賃金 -.-就業規則
 -.-安全衛生 -.-解雇等 -.-退職金
 -.-その他